

# 茨田南地域 児童虐待勉強会 報告書

日時：平成24年3月21日(水) 午後7時～9時

場所：茨田南福祉会館 参加者：32人



NPO 法人 児童虐待防止協会の藤本勝彦先生をお招きし、みんなで児童虐待について考える勉強会を開催しました。

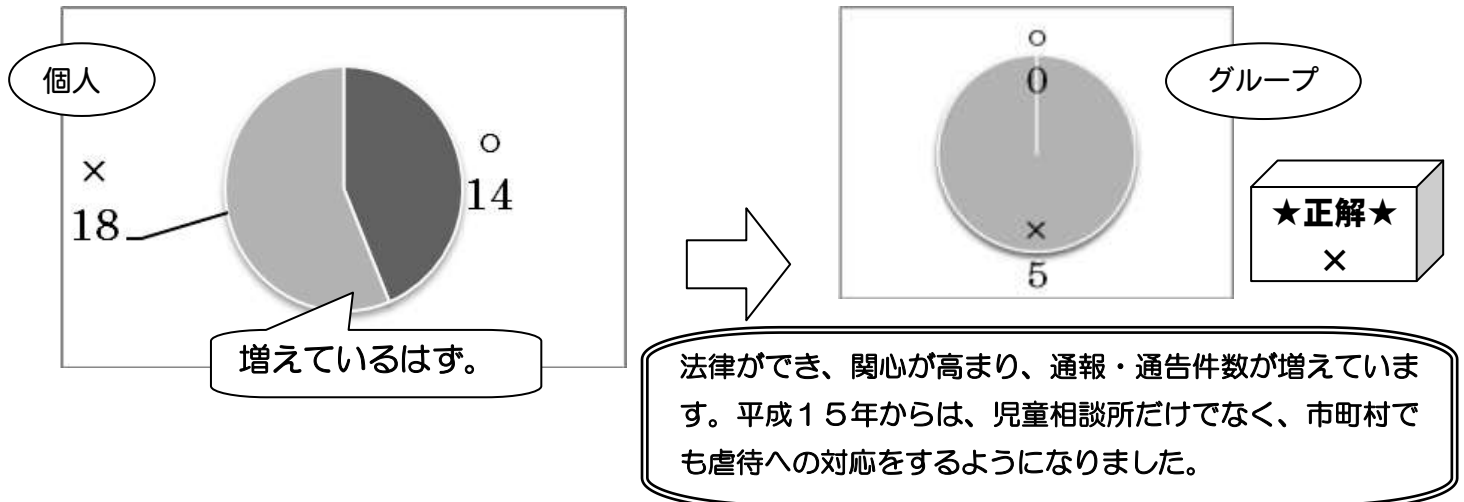
まず、CC テストという手法を用いて、個人個人で20問の児童虐待についての○×問題の答えを考えた後、その答えについて、もう一度グループで話し合い、グループで1つの答えを出しました。グループの話し合いで理解を深めた後には、藤本先生から「地域で子どもたちを守るために ～児童虐待防止を考える～」というテーマで、虐待としつけ、体罰の違い、児童虐待が子どもに与える影響等についてご自身の児童養護施設や情緒障害児短期治療施設でお勤めになった経験をもとにご講演いただきました。最後に藤本先生からは、「地域で早くに発見して、早くから関わるのが大切。そのためには、今日の話を知り合いにも伝え、自分のできることをして欲しい。『何かしましょうか?』という精神を大切にしてほしい」というメッセージが伝えられました。

出席者の大半の人が身近に見聞きしたことのなかった「児童虐待」について、みんなで考え、身近なものだと感じ、理解を深めるいい機会となりました。

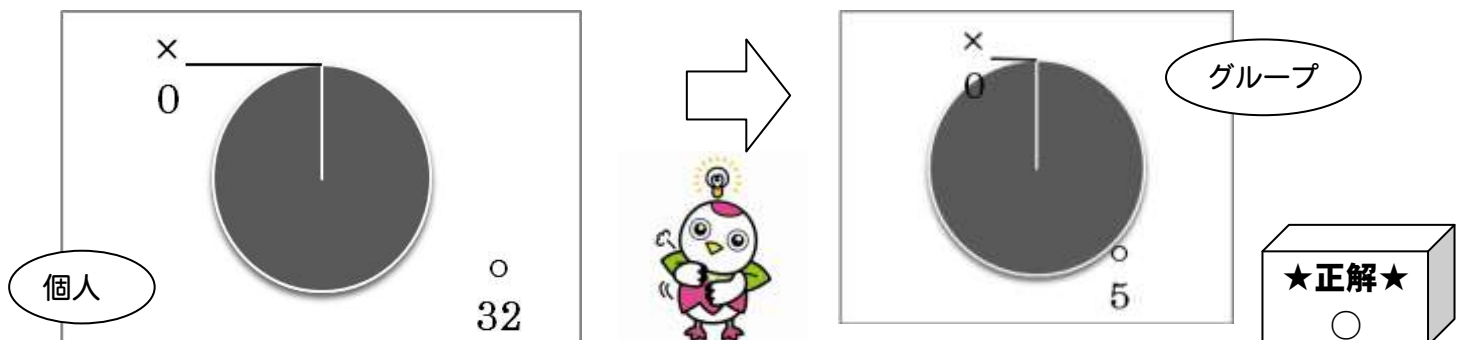
# CCテストの結果まとめ

☆ 個人で考え時とグループ考えた時とはどれくらい答えが変わったでしょうか？ ☆

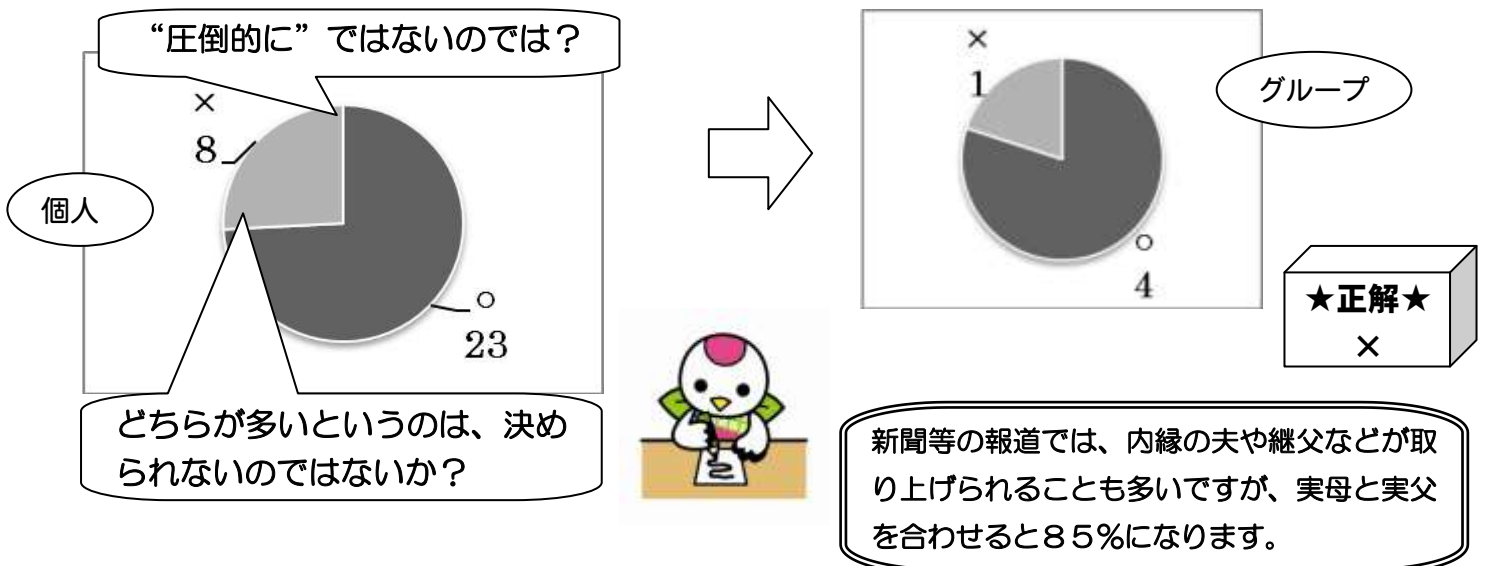
1. 平成12年の「児童虐待等に関する法律（児童虐待防止法）」が定められ施行されましたが、その効果もあってそれ以降は「子ども虐待」は徐々に減っています。



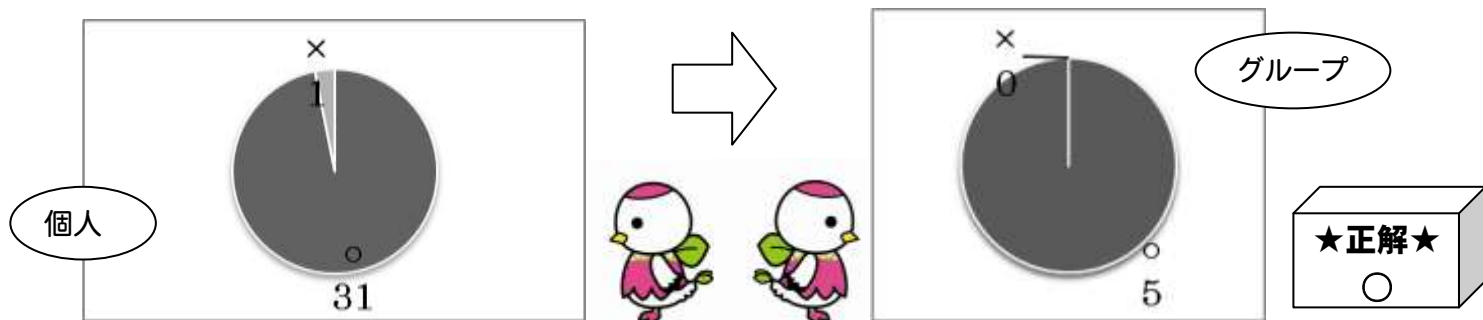
2. 「しつけ」は子どもを育てる上で大切な営みであるが、親がいくら「愛情に基づいたしつけのため」と言っても、子どもの心や身体に傷が残るような行いは「虐待」です。



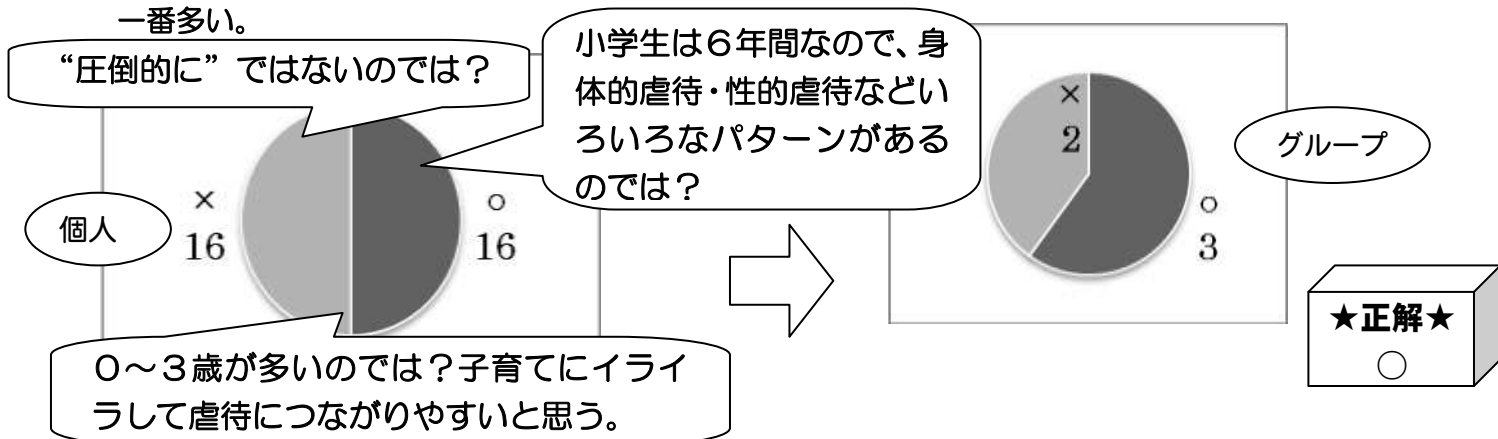
3. 虐待者は内縁の夫や継父など実親ではない者の方が実親よりも圧倒的に多い。



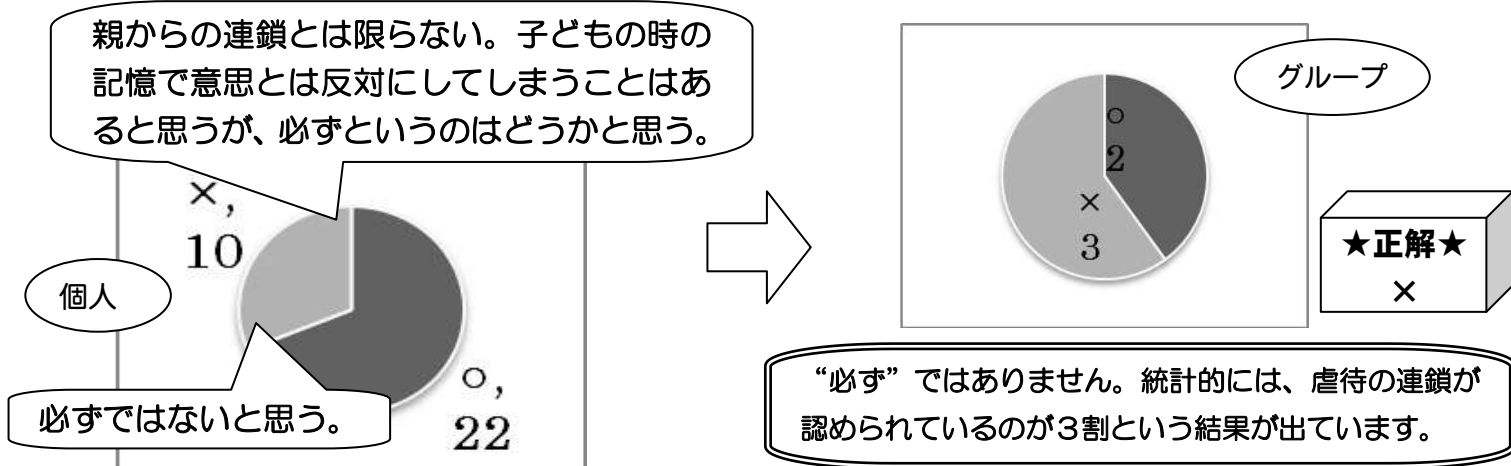
4. 虐待によって子どもの知的発達が遅れることがあります。また、情緒行動面にも深刻な影響を与えることも報告されています。



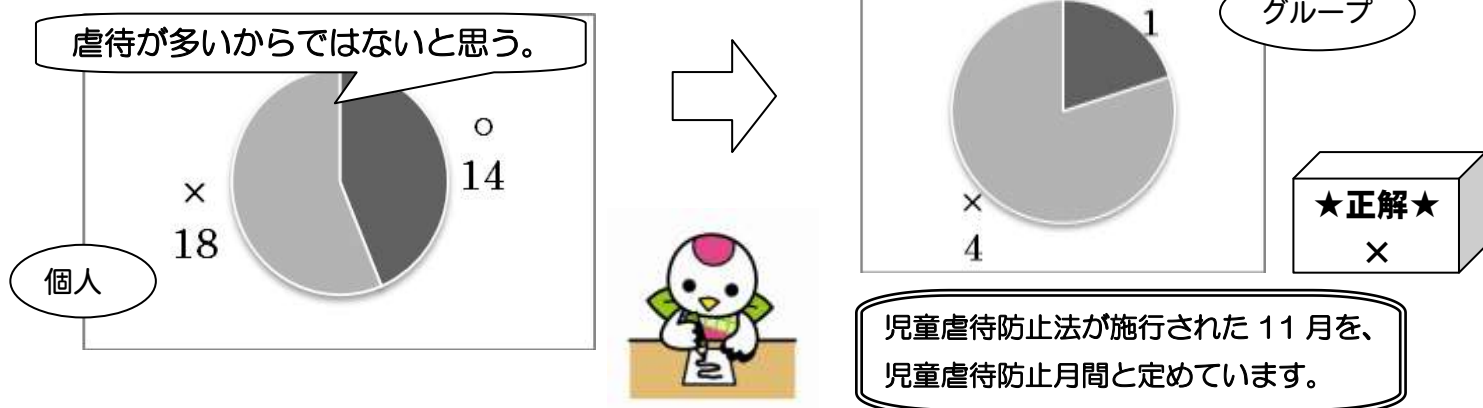
5. 虐待を受けた子どもは、0～3才未満、3才～学齢前児童、小学生、中学生以上と分ければ小学生が一番多い。



6. 虐待者は、子どもの時に親から必ず虐待を受けています。これを虐待の連鎖れんきという。



7. 厚生労働省は、平成17年度より毎年11月を児童虐待防止推進月間と定めていますが、これはこの月に子ども虐待が多く発生するからです。



8. 親には親権があり、その中にはしつけのために我が子を懲戒する権利（責任）が含まれています。

個人 × 9

しつけと虐待は違う。  
悪いことをしたら親が怒らないと。

グループ ○ 3

★正解★

子どもにも権利があるので、親の権利で叩いたりしてはいけないと思う。

親権とは、簡単に言えば、「他の大人から我が子を守る権利」のことです。平成24年4月より、民法が改正され、従来からの親権停止に加え、親権一時停止の制度ができます。

9. 子ども虐待は子どもへの深刻な権利侵害なので、「児童虐待防止法」にしっかりと文章にして謳われています。

個人 × 6

グループ ○ 5

★正解★

10. 子ども虐待は、身体的虐待、性的虐待、心理的虐待の3つのタイプに分けられています。

個人 × 6

育児放棄（ネグレクト）も含まれる。

グループ ○ 2

★正解★

×

上記の3つに加え、ネグレクト（育児放棄）も子ども虐待であるとされています。

11. 兄から妹への性行為は、性虐待です。

個人 × 8

兄からというのは違うのでは？

グループ ○ 2

★正解★

×

きょうだい間は虐待になるのか？

虐待は「保護者が～」と規定されているので、親のネグレクトということになります。



12. 学校の先生による子どもへの体罰は、身体的虐待です。

個人

グループ

★正解★  
x

学校教師によるものは、「虐待」にはなりません。

13. 子どもの目の前でのドメスティック・バイオレンスは子どもへの心理的虐待と位置づけられています。

個人

グループ

★正解★  
o

法律にもきちんと明記されています。

14. 虐待は、放置しておけばますます親や子どもの心や身体の傷は深くなり、回復に長い年月が必要になるので、早期発見・早期対応が何よりも大切です。

個人

グループ

★正解★  
o

15. 虐待を受けた子どもは危険な環境から守られるため、ほとんどが親から分離され施設等に保護されています。

個人

グループ

★正解★  
x

施設保護される子どもは10%程度で、残り90%は地域で生活しています。

16. 子ども虐待を発見した者は速やかに児童相談所（子ども家庭センター）等に通告しなければなりません。虐待の疑いの段階では通告しなくても構いません。

個人

疑いでも構わないので、  
どんな状況でも通告しないとイケない。

グループ

★正解★  
x

間違っても構わないので、とにかく  
通報することが必要です。

17. 虐待は、親自身の問題、子ども側の問題、家庭内の問題のほか社会環境（経済や文化的背景など）などが複雑に絡み合って発生すると言われています。

個人

グループ

★正解★  
o

18. 子ども虐待は、特別な家庭の特別な問題です。

個人

特別な家庭だからこそ起こる。

普通家庭でも起こる。  
どこにでもあり得る問題。

グループ

★正解★  
x

どこの家庭で、いつ、誰が起こしてしまうかわからない問題です。

19. 生後4ヶ月までの乳児家庭全戸を訪問する事業いわゆる「こんにちは赤ちゃん事業」は虐待発生予防対策として期待されています。

個人

期待している。やっているかどうかはわからないけれども…

グループ

★正解★  
o

+20. どんな理由があろうとも、虐待は許されないことなので、まず虐待した親を叱り、育て方がまちがっていることを認めさせることが大切です。

### < 得点表 >

グループ		1	2	3	4	5
不一致件数		10	13	11	10	14
個人解答	最高点	95	90	95	60	75
	最低点	60	45	65	45	50
	平均点	71	71	74	55	65
グループ得点		100	80	95	55	65
効率		100	31	81	0	28.6

☆ 効率の高いグループが話し合いをしたグループです ☆



## 研修会を終えて・・・ (アンケートより)



- CCテストがよかった。外からの情報だけの知識がすべて正しいとは限らないことがわかった。
- 虐待は親も被害者であるということがわかった。
- 虐待について、身近に考えなおしができる。いろいろな意見があってよかった。
- 他の人に今日の話伝えてあげたい。
- 虐待に対する先入観があったと反省する。知っていたつもりが間違っていた。
- 自分自身が子どもへの接し方を見直す必要性を感じました。
- CCテストを通して、とてもわかりやすく勉強になり、しっかり心に留めて活動したいと思います。
- 話だけでなく、グループ討議などがあり、内容は深刻だけれども、楽しく過ごせた。
- 早く助けてあげることが大切である。ネグレクトのことがわかった。
- 虐待を受けている子どもの早期発見・対応を考えていきたい。自分ができる範囲で協力していきたい。
- 自身の行動がしつけなのか、虐待になるのかと思える例もあるように感じ、不安に思うことが多くあります。
- 虐待のことを聞くたびに、心が痛み、今後は少しでも減少するように思いを強くしました。



主催：茨田南社会福祉協議会  
 鶴見区アクションプラン推進委員会  
 鶴見区アクションプラン推進委員会 子ども部会

共催：茨田南地区民生委員協議会  
 茨田南地域ネットワーク委員会

報告書作成：(社福) 鶴見区社会福祉協議会

鶴見区マスコットキャラクター つるりっぷ

